

入院患者における褥瘡発生率(病院全体)

目的

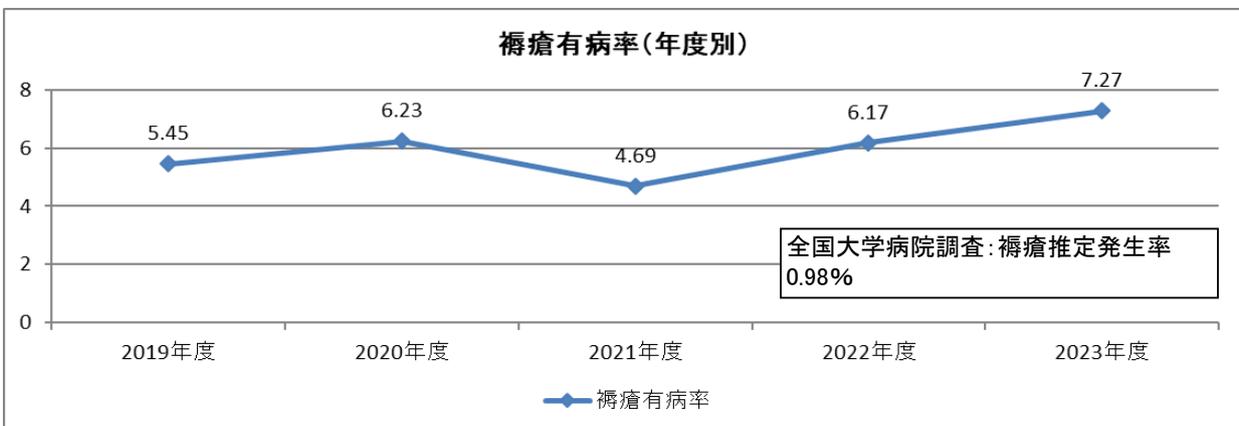
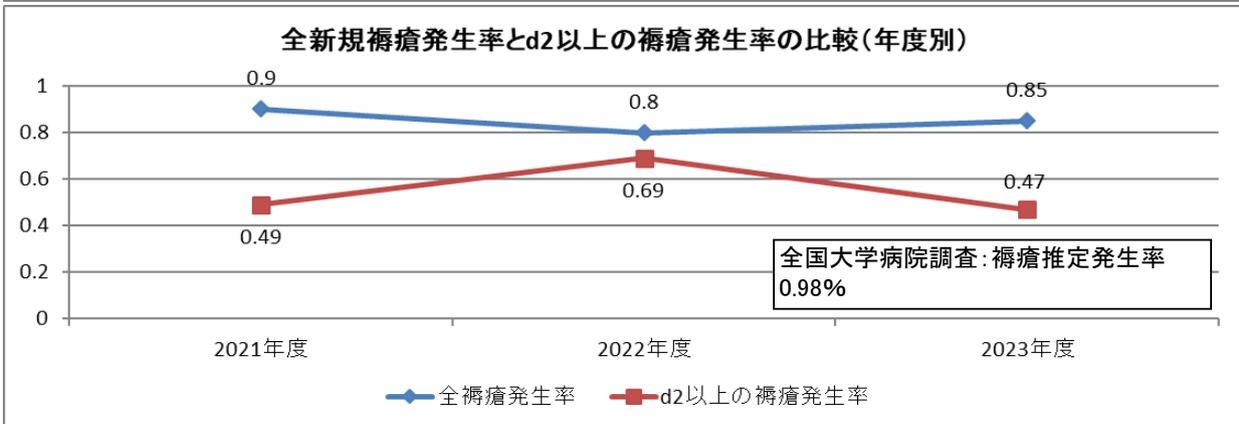
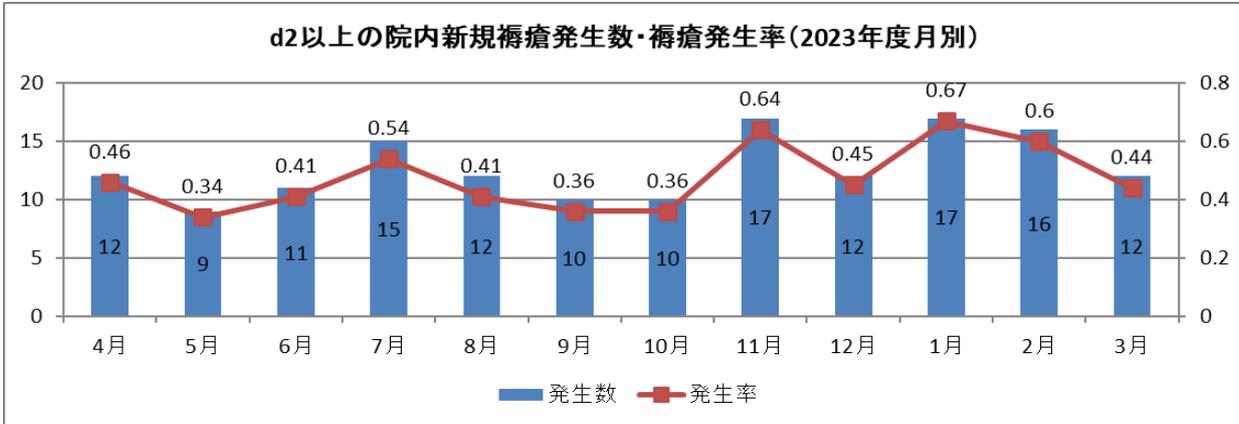
病院内褥瘡患者の実態把握

分母

同日入院患者または持ち込み患者または調査月間以前に院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数

分子

d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡患者数



データ分析コメント

当院は特定機能病院であるため、褥瘡発生率はQIプロジェクトの平均値や全国の大学病院と比較高い状況にあります。その理由には、有病率が高い、つまり自宅や施設などから既に褥瘡をもって入院され、褥瘡発生リスクが非常に高い方が多いということが挙げられます。
 当院では褥瘡予防のためのマットレスの整備を進めており、2018年度より重症な患者さんが多く入院する病棟に、さらに2021年度より一般病棟に高機能エアマットレスを配置しました。
 今年度もエアマットレスの新規更新に向け活動を進め、さらなる褥瘡発生率の低下と患者さんが安心・安楽な療養生活を送れるよう努めてまいります。